



真実を求め  
真実を語り  
真実を行ふ



令和5年度妻中学校だより

6月号



妻中H.P

校長

伊東 泰彦

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

## 中学校総合体育大会（中体連）での活躍！

6月3日～19日にかけて、西都児湯地区中学校総合体育大会（中体連）が開催されました。三年生にとっては最後の大会となりますので、どの部活動も必死にがんばってくれました。優勝したチーム、県大会の出場権を勝ち取ったチーム、惜しくも敗

れてしまったチーム、結果は様々ですが、どのチームの試合も素晴らしい頑張りが見られ、妻中らしさがあふれていたと思います。玄関前にたくさんの優勝旗が並んでいるのも妻中の輝かしい伝統だと思えます。部活生の皆さんよく頑張りました。

### 日本一のにぎりめし魂

宮崎県西の都！感謝と祈りと闘争本能を楽む会一同



優勝した男子バレーの選手たち



大活躍の陸上部



準優勝した野球部



表彰式



第三位の男女バスケット部

【団体の部】**優勝**：男子ソフトテニス、男子バドミントン、女子バドミントン、男子バレー  
**準優勝**：女子ソフトテニス、軟式野球、柔道女子、**第3位**：男女バスケットボール、サッカー  
【個人の部】

- バドミントン) 男子シングルス：吉野竜大 (第1位)、男子ダブルス：沼口大介・矢野遼介 (第1位)、清水伶・外山皓也 (第2位)、斎藤遥真・黒木岳一佐 (第3位)、中山千瑛・中山瑞稀 (第3位)  
女子シングルス：金丸美桜 (第1位)、黒木優華 (第3位)、黒木亜沙美 (第3位)、  
女子ダブルス：木幡向日葵・林咲蓮 (第1位)      ■剣道) 男子：中武永喜 (8位)
- ソフトテニス) 男子：井上・西府ペア (3位)、今井・池田ペア (4位)、女子：松浦・小賀野ペア (9位)
- 柔道) 男子：池田晴輝 (2位)、女子：西田実和 (1位)、土持向日葵 (1位)、斎藤純恋 (1位)、本庄心和 (2位)
- 水泳) 男子4×100mリレー：中武・有馬・松浦・黒木 (1位)、男子4×100mメドレーリレー：増田・中武・有馬・桑原 (1位)、  
100・200背：桑原秀忠 (1位)、100・200平：有馬大智 (2位)、100・200バタ：中武琥太郎 (2位)、

100平：山崎勇瑠（4位）、200平：増田朝光（1位）、50m自：増田朝光（2位）、  
100・200背：満留彩哩（2位）、200・500自：黒木幸輝（1位）、200自：松浦陽大（4位）

■陸上）低学年女子4×100R（1位）、低学年男子4×100R（1位）、共通女子4×100R（3位）、共通男子4×100R（1位）、  
低女80mH：大坪由奈（2位）、共通女100mH：新名琉加（1位）、低男100H：河口侑真（第1位）、  
共通男110mH・共通男走高跳：新城翼（1位）、1男1500：楠泰駕（2位）、2男1500m：河野柗輝（2位）、  
1男1500m：寺村陽希（3位）、3男1500m・共通男800m：鮫島陽加（3位）、共通男400m：緒方琉翔（3位）  
共通男400m・3年男100m：吉田聖矢（1位）、共通男走幅跳：肥田木晃明（2位）、河口侑真（3位）、  
1年女800m：小畑めぐ（1位）、2年女800m・共通女1500m：松岡茉莉明（1位）、  
1年女100m：宮野原玲奈（3位）、共通男200m（1位）・2年男100m（2位）：高塚元期、  
共通女200m・2年女100m：森久晴（1位）、1年男100m：湯野宮昊（2位）



※中体連以外での表彰

【第48回宮崎県中学ジュニア陸上競技選手権大会】

共通男4×100mR（第2位）、2年女800m：松岡茉莉明（第1位）、共通男子四種競技：新城翼（第1位）

【西都児湯地区錬成会・弓道大会】

男子団体）優勝：妻中C、第2位：妻中D、第3位：妻中B

女子団体）優勝：妻中A、第2位：妻中D

男子個人・3年）優勝：本部由來、第2位：中尾海斗、第3位：小畑春人

2年）優勝：細川竣平、第2位：戸田直宏

女子個人・3年）優勝：宮本恵実、第2位：上米良百恵、第3位：上米良祐奈

2年）優勝：神田愛依、第3位：原田菜々



三真の轍 わたち

「虹舞(ニライ)考」本校の正門をくぐった正

面中庭に「虹舞」と書かれた横看板が鎮座している(下写真参照)。現生徒会の活動スローガンであり、「個性を貫き空へ舞え」という秀逸なサブタイトルもついている。本校生徒の造語ということだが、実に広がりや含蓄のある言葉で誇らしい▼空気中の水滴と太陽光の屈折が織りなす七つの虹彩に対し、人々は古来より「夢や希望」「幸運」「心の転機」など多くの前向きな思いを込めてきた。また最近では、虹彩の境界が明確でない性質を捉え、虹を「多様性」や「共存」の象徴として用いられることも多い。この不思議で美しい大気光学現象を、古代の人々は生き物だと信じていたらしく、虹という漢字には虫偏が用いられている▼では、本校の生徒会諸君はスローガン・虹舞にどのような思いを込めたのだろうか？ 生徒会長・副会長に尋ねたところ、「虹の象徴する『多様性』を踏まえ、生徒一人一人の個性が花開き、未来で活躍していく人材を輩出する学校にしていきたい、という思いを込めた」と語ってくれた。実に誇らしく頼もしい生徒会である▼梅雨の季節、雨上がりの空に虹を見る機会も何度か訪れるはずである。イギリスの作家・ギルバート・チェスタトンという人は「あなたの夢を信じなさい。そうすればいつの日かあなたの虹が輝いてくるだろう」と言ったそうである。「虹舞」の志で夢に向かって頑張っている本校の生徒たちにも、きつといつか「あなたの虹」が輝くことを願い、このスローガン看板を毎日見ているところです。(校長 伊東泰彦)



第77期生徒会スローガンの看板／生徒会長・副会長の説明(右)